



さまざまなジャンルの音色が融合した三高田一中

多彩な音ふれあう

陸前高田と高田で合同コン

陸前高田と富山県射水両市による「ふれあいの音コンサート2012 絆」は26日、陸前高田市高田町の第一中学校体育館で開催された。およそ10年ぶりとなるコンサートには聴衆およそ120人が集まり、多彩な音色に込められた復興への思いを感じた。

同名のコンサート

は、東京のオーケストラ団体と陸前高田のひかみの園が演奏会を開いたことがきっかけで、「年齢や障がいの枠を超えたコンサート」として、平成15年、また5年間市教委が催していた。

このうち3年間参加経験があり、東日本大震災後に物資支援などで同市を訪れていたシンセサイザー奏者・滝沢卓さん(54)「富山在住」が「被災地の住民が主役になれるコンサートを」と同市や地元射水市の仲間に呼びかけて実行委員会をつくり、復活が実現した。

陸前高田市から参加したのは、ひかみの園、あすなるホーム、作業所きらり、たかたミュージックサークル。

射水市からは、ウィンドアンサンブル「二期一会」、ぼんぼんアンサンブル、サイエターの吹奏楽2団体と、滝沢さんをはじめとする演奏家たち約50人。両市の子どもたちも演奏に加わった。

演奏家たちの単独ステージや両市の交流ステージが繰り広げられ、子どもと大人の歌声、伝統楽器やシンセサイザー、吹奏楽の音色が見事に融合。最後に参加者全員で演奏した滝沢さん作曲「TAKATA MIRAI」では、観客も一緒に体を揺らし、会場にたくさんの笑顔が広がった。

来場者の中には、市教委に勤め過去のコンサートにかかわっていた子どもを亡くしたという人も。滝沢さんは「コンサートへは亡くなった方への追悼、全ての人にとって平等な世界になるように」という思いを込めた。新

しい陸前高田への力にならなければ」と話していた。